



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【女子】第3節 第2日

開催日時 6月3日(日) 会場 日光市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00	東海学院大学	1	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ
第2試合 11:40	山梨学院CROWNING GLORIES	3	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$	3	立命館大学ホリーズ
第3試合 13:20	ソニーHC BRAVIA Ladies	2	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	コカ・コーラウエストレッドスパークス
第4試合 15:00	グラクソ・スミスクライン	1	$\begin{pmatrix} 1 - 2 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	2	南都銀行

【各試合の結果・詳細】

第1試合

東海学院大学 1 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 12
4 勝 0 分 2 敗

勝点 1
0 勝 1 分 5 敗

<得点>

東海学院 : 9分永井

天理大学 :

<戦評>

天理大学ベアーズのセンターパスで試合が開始された。先制したのは東海学院大学。9分、FHから#11小沢の右からのパスをFW#9永井が合わせ、シュートを決めた。その後、お互いに攻め込むが決め手を欠き、得点できず、1-0で前半を折り返した。
後半に入っても中盤での激しいつづし合いが続き、お互い得点に結びつかない。追いつきたい天理大学は、PCを2本得るも得点できず、そのまま1-0で東海学院が逃げ切った。

テクニカルオフィサー ジャッジ	浅野 久雄 君島 恵美	アンパイア	安岡 裕美子 野澤 達
--------------------	----------------	-------	----------------

第2試合

山梨学院CROWNING GLORIES 3 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$ 3 立命館大学ホリーズ

勝点 6
1 勝 3 分 2 敗

勝点 1
0 勝 1 分 5 敗

<得点>

山梨学院 : 4分山田、17分伴田、69分浦島

立命館大 : 40分上田、60分一谷、67分一谷

<戦評>

立ち上がりから試合を優位に進める山梨学院CROWNING GLORIESは4分、相手23m付近のFHからFW#7山田がセルフパスから持ち込みリバースシュートを決め、先取点を挙げた。17分には、PCからFB#1伴田がシュートを決め、2-0とリードを広げ、前半を終えた。
後半に入ると立命館大学ホリーズも攻勢に出る。40分、FHから山梨学院DFのトラップミス进行、FW#4上田が押し込み1点差とした。一方、山梨学院は、直後にPSを取るが、ポストに嫌われリズムに乗ることが出来ない。粘り強く守る立命館大は60分、PCからパスを回し、MF#17一谷のタッチシュートで同点に追いつく。勢いに乗った立命館大は、67分センターリングから#17一谷がシュートを決めて逆転した。山梨学院も直後の68分、相手DFのミスから得たPCをFW#9浦島が確実に決め同点に追いつき、3-3の引き分けで試合が終了した。

テクニカルオフィサー ジャッジ	越湖 隆一 野澤 光代	アンパイア	我妻 順子 鈴木 茂明
--------------------	----------------	-------	----------------

第3試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 2 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 16
5 勝 1 分 0 敗

勝点 15
5 勝 0 分 1 敗

<得点>

SONY : 15分村上、67分飯村

CCWR :

<戦評>

昨年度の日本リーグプレーオフ決勝戦と同カードの対戦である。試合開始直後から展開の早い、目の離せない一戦となった。先制点はソニーHC BRAVIA Ladies。15分、PCからFB#4村上が決めた。その後は一進一退のゲームのまま、前半を1-0で折り返した。
後半に入り、コカ・コーラウエストレッドスパークスもペースを握り始め、再三PCを取るが、決定打がなく、また、SONYのDF陣の好セーブにも阻まれ、得点を奪うことが出来ない。逆に、SONYは、終了間際の67分、#12藤尾が折り返したパスをMF#19飯村がタッチシュートを決め、決定的な2点目を奪い、その後のCCWRの攻撃を押えて2-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	浅野 久雄	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	君島 恵美		根岸 郁美

第4試合

グラクソ・スミスクライン 1 $\begin{pmatrix} 1 - 2 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$ 2 南都銀行

勝点 6
2 勝 0 分 4 敗

勝点 11
3 勝 2 分 1 敗

<得点>

グラクソ : 18分小沢

南都銀行 : 9分植田、19分東

<戦評>

試合開始直後からグラクソ・スミスクライン陣内に深く攻め込む南都銀行は9分、左側FHから#8爲藤のパスをFW#7植田がゴール右上に決め先制した。グラクソも18分、#8片峯からの左からのパスをFW#15小沢がスライディングタッチシュートを決め同点とした。しかし、直後の19分、南都銀行PCの攻撃からFW#5東が押し込んで勝ち越し、南都銀行リードのまま前半を終了した。
後半に入って、互いに相手サークルに攻め込むが、チャンスをもにすることが出来ない。両チームともPCを生かしきれず、後半は無得点のまま2-1で南都銀行が逃げ切った。

テクニカルオフィサー	越湖 隆一	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	野澤 光代		鈴木 茂明